



2018年8月24日

各 位

会社名	ビート・ホールディングス・リミテッド (URL : https://www.beatholdings.com)
代表者名	最高経営責任者 (CEO) レン・イー・ハン (東証第二部 コード番号 : 9399)
連絡先	経営企画室マネージャー 高山 雄太 (電話 : 03-4570-0741)

当社の定時株主総会に関するお知らせ

当社は、当社の2018年7月13日付プレス・リリース「定時株主総会の基準日の設定に関するお知らせ」にて2018年度の定時株主総会（以下「本株主総会」といいます。）の基準日を2018年7月31日に決定したこと、また、2018年8月8日付プレス・リリース「（続報4）株主による臨時株主総会の招集請求に関するお知らせ」にて本株主総会の開催日時、開催場所及び議案等については、決定次第お知らせする旨を開示しました。

本日、取締役会において、本株主総会の開催日時、場所及び報告事項を下記のとおりとすることを決定いたしましたのでお知らせします。

2018年7月31日を基準日として、ケイマン諸島法に従い、同日において、当社株主名簿に氏名が記載された登録株主の皆様は定時株主総会にご出席いただくこと、そして、決議事項に関して投票が実施される場合にはご投票いただくことが認められており、また、株式会社証券保管振替機構をとおして当社株式を保有されていた実質株主の皆様は、決議事項に関して投票が実施される場合には、議決権代理行使指図書を折り返しご送付いただくことによりご投票いただくことが認められており、2018年7月31日（基準日）において当社の実質株主であることを証するため、ご自身の公的な身分証明書、本招集通知の原本及び本招集通知が郵送された際の封筒を会場入り口でご提示頂くことを条件に、ご出席し、質疑を行うことが認められております。但し、下記のとおり本年度は決議事項はございませんのでご投票いただくことはありません。

記

1. 日 時 2018年10月5日（金曜日）午前11時（東京時間）
2. 場 所 東京都港区六本木 3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー9階
「ベルサール六本木コンファレンスセンター」 「Room C」
3. 会議の目的事項

報告事項

2017年1月1日から2017年12月31日までの事業報告書及び連結損益計算書並びに2017年12月31日現在の連結貸借対照表の内容報告の件

決議事項



本年度は決議事項はございません。

本株主総会は、当社本日開示しましたプレス・リリース「当社の臨時株主総会に関するお知らせ」に記載のとおり2018年6月23日を基準日とした臨時株主総会との同日開催となることをご了承ください。

なお、当社の2017年11月1日付プレス・リリース「当社の定時株主総会、商号の変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」にて、2018年度の定時株主総会については、遅くとも2018年9月中の開催を目指すことをお知らせしましたが、本年は株主からの提案を受け臨時株主総会も開催することとなったため、株主の皆様の利便性も考慮し臨時株主総会及び本株主総会の同日開催を検討しておりましたところ、本株主総会と同日開催の臨時株主総会の決議事項の確定に時間を要したため、上記のとおり2018年10月5日の開催となり、株主の皆様をはじめ関係者の皆様にはご迷惑とご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上



ビート・ホールディングス・リミテッドについて

当社、ビート・ホールディングス・リミテッドは、所有する知的財産権及び技術に基づいてヘルスケア・ブロックチェーン・エコシステムの構築を含むブロックチェーン技術に基づくアプリケーションの開発、ウェルネス・サービス、ヘルスケア・ウェアラブル端末のデザイン及び製造、並びに知的財産権のライセンスング事業を行っております。また子会社の GINSMS（トロント・ベンチャー証券取引所に上場、TSXV : GOK）を通じてモバイル・メッセージング・サービス並びにソフトウェア製品及びサービスを提供しています。当社は香港に事業本部を構えシンガポール、マレーシア、インドネシア、中国及びカナダに子会社を有しております。

詳細は、ウェブサイト：<https://www.beatholdings.com/> をご参照下さい。

本文書は一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書の情報に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を判断する投資家は、有価証券報告書を含む提出書類を確認し、それらに含まれるリスク要因及びその他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。本書は多くのリスク及び不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの要因が当社の実際の結果、業績または当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示または黙示に示される将来の結果及び業績などとは大きく異なることがあります。